

- 障害者就労継続支援事業所による引退競走馬を利用した観光牧場を設立。流鏝馬神事など地域の伝統行事も継承。
- 馬糞堆肥を活用した循環型農業を実施し、様々な障害者の仕事作りや地産地消を推進。

基本情報

- 所在地：島根県益田市
- 選定表彰：
 - ・ノウクアワード2021 チャレンジ賞
 - ・第9回「ディスカバー農山漁村の宝」中国四国農政局選定 (R4)
- 主力商品・イベント：
 - ・引退競走馬を活用した観光牧場・馬事文化継承
 - ・馬糞堆肥を活用した農産品及び加工品
- 活用した支援施策：
 - ・公益社団法人 全国乗馬倶楽部振興協会「多様な馬の利活用等の取組みを支援し、発展させるための事業」(H30～)
 - ・令和3年益田市商品開発・販路開拓等支援事業補助金

取組の概要

- 老朽化により存続が困難になっていた市営馬事公苑を再興し、障害者の就労、競走引退馬のキャリアを活かす観光牧場を設立。
- 競走引退馬を4頭飼養し、来客者のセラピーの役割や流鏝馬神事など地域の馬事文化の継承、日本遺産観光プログラム等の活動に参加。
- 飼育馬の馬糞堆肥を活用し、循環型農業による「農・商・福連携事業」を推進。



親子連れで賑わう観光牧場

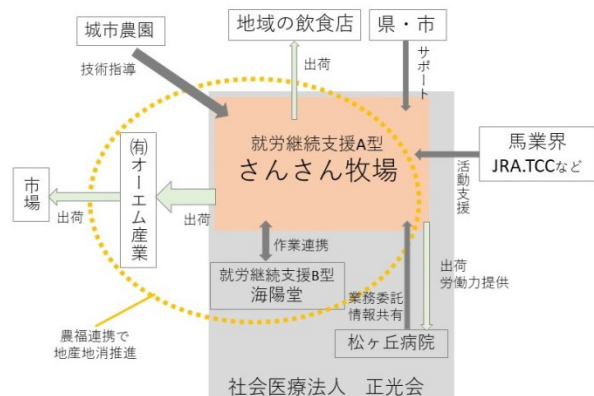


伝統の継承に貢献



馬糞堆肥を活用した農業

体制図



取組の成果

- 売上高：104万円 (H30) → 2,337万円 (R3)
- 障害者雇用：5人 (H30) → 17人 (R3)
- 来客数：550人 (H30) → 13,280人 (R3)
- 馬頭数：5頭 (H30) → 10頭 (R3)

ウェブサイト ▶ <https://sansanfarm.jp>

地域資源：森林、ジビエ、うなぎ、多様な人材
 事業分野：農林水産業、移住・起業支援、福祉
 事業主体：総合地域商社、起業家、地方自治体

- 「未来の里山づくり」をテーマとする地域総合商社として、起業人材の育成、森林ブランド等の農林水産物販売、福祉事業を展開。
- 地域メディア「Through Me」「西粟倉アプリ村民票」「西粟倉村と暮らすふるさと納税特設サイト」の運営を通じて関係人口を創出。

基本情報

- 所在地：岡山県西粟倉村
- 選定表彰：
 - ・平成26年地域再生大賞 準大賞（森の学校）
 - ・平成27年第1回ウッドデザイン賞最優秀賞（農林水産大臣賞）（森の学校）
 - ・令和3年ふるさとづくり大賞 団体表彰（総務大臣表彰）（エーゼロ）
- 主力商品・イベント：
 - ・ユカハリタイルなど木材加工製品等
 - ・起業プログラム（TAKIBI等）
 - ・地域おこし協力隊研修等
 - ・森のうなぎ、森のジビエ、いちごなど
- 活用した支援施策：
 - ・地方創生推進交付金（内閣府）
 - ・農林水産業みらい基金
 - ・事業再構築補助金（中小企業庁）

取組の概要

- 2009年に地域が主体的に森林等の地域資源の活用と、地域のお客づくりに取り組むために、西粟倉村民や西粟倉村役場が株主となり設立された「株式会社西粟倉・森の学校」と、2015年に人や自然の本来の価値を引き出し、地域経済を醸していくことを目的に設立された「エーゼロ株式会社」この2社が合併し2023年に生まれたのが「株式会社エーゼログループ」。現在は、北海道厚真町、滋賀県高島市においても事業展開。
- 経済資本事業：ローカルインキュベーション事業、移住・起業支援関連事業
- 社会関係資本事業：関係人口創出事業、ふるさと納税業務、アプリ村民票※1、情報サイトの運営
福祉事業（障害者就労支援、高齢者（介護）福祉事業）、建築・不動産事業
- 自然資本事業：苺農園、うなぎ養殖、ジビエ肉加工、蜂蜜などの生産・加工・販売、
レストラン事業、木材加工流通事業



アプリ村民票



西粟倉ローカルベンチャースクール



苺生産

体制図

地方自治体

連携

(株) エーゼログループ
 ・西粟倉村
 ・厚真町・高島市

自然資本事業

社会関係資本事業

経済資本事業

取組の成果

- 従業員数：115人(社員61人、パートスタッフ54人)※役員除く
- 売上：約10億円
- 起業家数：全体約50件（うちローカルベンチャー支援関連 15件）
- 移住者人口：約200名（R4.12月）

※1 西粟倉村の情報（起業、観光、仕事など）を受けられ、どこにいても村に関われるアプリ。村の施設訪問やイベントに参加すれば特典を得られるポイント付与。西粟倉村役場からこのアプリの開発と運営を受託している。

ウェブサイト▶<https://www.a-zero.co.jp/>

広島みはらプリンプロジェクト 実行委員会

地域資源：農水畜産物、観光
事業分野：食品、観光・旅行、教育、イベント
事業主体：商工会議所、地域連携DMO、関係団体

○地域の海・山・里の豊富な食材を一つの取組に巻き込むコンテンツとして「プリン」に着目し、官民連携のまちおこしを実施。1次生産者等の所得向上や付加価値向上に向けて催事出店、販路開拓等を実施。

基本情報

- 所在地：広島県三原市
- 選定表彰：
 - ・第10回「ディスカバー農山漁村の宝」(R5)
 - ・日本商工会議所事業活動表彰 (R4)
- 主力商品・イベント：
 - ・広島みはらプリン (デザート、デリカ)
 - ・ご当地プディングフェスティバル
- 活用した支援施策：
 - ・三原市地域経済活性化提案事業 (三原市事業、R4)
 - ・HIROSHIMA FOOD HEROES CHALLENGE (広島県事業、R5)

取組の概要

- 三原市、三原商工会議所、地域の企業等が連携し、三原市の食の魅力を全国に発信することを目的に「広島みはらプリンプロジェクト実行委員会」を発足。
- 三原の食材を一つ以上使用して、三原を応援する人(店舗)によって作られたプリン「広島みはらプリン」として「デザート」と「デリカ(総菜)」の2カテゴリーで認定。催事への出店や積極的なプロモーション、販路の開拓など行い、1次生産者等の所得向上や付加価値向上へ寄与。
- テレビ、新聞、SNS、ラジオなど積極的なメディア活用、年に2回のガイドブックの発行、「ご当地プディングフェスティバル」の開催等、幅広いプロモーションを実施。
- 市民への浸透を図りながら、学校給食への採用や食に関する授業とのタイアップなど、教育分野との連携をさらに広げていく計画。



広島みはらプリンのロゴマーク

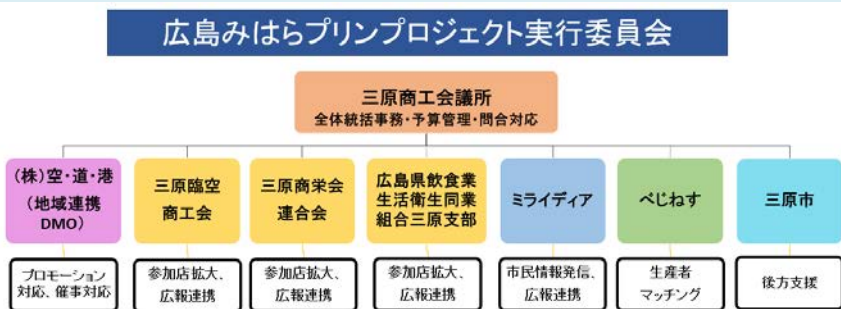


年2回発行するガイドブック



ご当地プディングフェスティバル

体制図



取組の成果

- 販売店*1及び催事売上：10万円 (R3) → 1,287万円 (R4)
- 催事出店回数：1回 (R3) → 27回 (R4)
- 参加店舗*2売上：未確認 (R3) → 1,400万円 (R4)
- 市外参加店舗数：0件 (R3) → 1件 (R4) → 3件 (R5)

*1 販売店：JR三原駅構内販売ブース

*2 参加店舗：広島みはらプリンとして認定された商品を製造販売する店舗

ウェブサイト▶ <https://xn--v9j5a5ayy9c7b5140czuc.jp/>

株式会社 瀬戸内ジャムズガーデン

地域資源：農林水産物

事業分野：食品、観光・旅行、教育

事業主体：地元企業、生産者、観光事業者、教育機関

○連携農家等の栽培果実類をジャム・リキュールに加工し、スイーツを販売するカフェの観光スポット化など、6次産業化や観光資源創出を実践。地域内外の多様な組織や事業体と連携し、移住者支援や魅力の発信を行う等地域に貢献。

基本情報

- 所在地：山口県大島郡周防大島町
- 選定表彰等：
 - ・農林水産祭「多角化経営部門」日本農林漁業振興会会長賞（R3）
 - ・第50回日本農業賞「食の架け橋部門」大賞（R2）
 - ・第5回「ディスカバー農山漁村の宝」（H30）
 - ・総合化事業計画認定（H25）
- 主力商品：
 - ・果物（柑橘、イチゴ、いちじく等）を使用したジャム、スイーツ等
- 活用した支援施策：
 - ・6次産業化ネットワーク活動交付金（H26）
 - ・経営継続補助金（R2）

取組の概要

- 契約農家から高価買取することで農家の所得向上に貢献しているほか、耕作放棄地を借りて自社農園で栽培。
- 年間180種類もの地域性豊かなジャムを生産するとともに、加工場に併設した直売施設やカフェで自社のジャムやスイーツを提供。
- 酒造免許を取得し、レモンチェッコ製造のため、特命農業部員（クラウドファンディング参加者）と共に柑橘畑の整備から実施。現在は農泊施設の建設を行っている。
- 移住希望者と地元企業等とのマッチングや、移住希望者向けツアー、高校・大学での講演やインターンシップ受入れなどを通じ、島に人を呼び込み域内で経済を循環させる持続可能な地域づくりを実施。



ジャム加工の様子

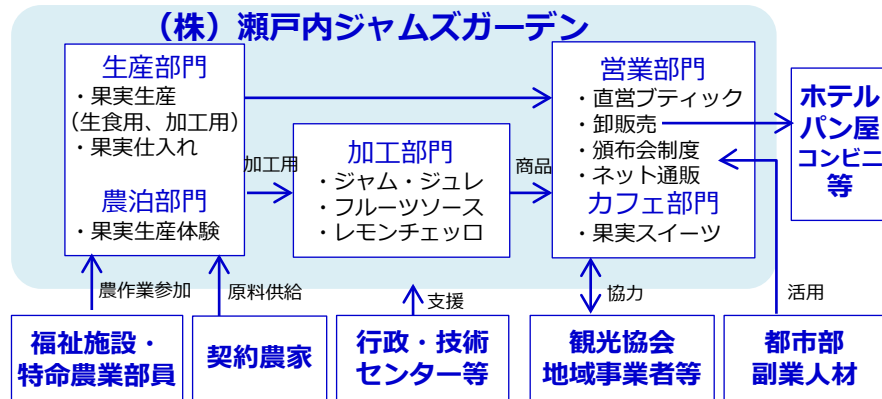


製造・販売している農産加工品



ガーデンテラスの景観

体制図



取組の成果

- 契約農家の所得向上（契約農家からの高価買取）
- 直営店来訪者数：8.5万人/年（2022年）
- 移住希望者向けツアー実施により移住者増加に貢献
- 特命農業部員制度により島との関係人口創出に貢献

ウェブサイト ▶ <https://www.jams-garden.com/>

家賀再生プロジェクト

地域資源：世界農業遺産、農林水産物

事業分野：食品、観光・旅行、福祉、芸術

事業主体：各種団体、農林漁業者、集落、学校、地元企業

- 世界農業遺産認定の「にし阿波の傾斜地農耕システム」(茅農法)により藍を栽培。企業と連携し食用の用途も開発。
- 地域の魅力を伝える観光ツアー実施、視察受入、農福連携の取組等で多くの団体と交流して地域を活性化。

基本情報

- 所在地：徳島県美馬郡つるぎ町
- 選定表彰：
 - ・とくしま集落再生表彰優秀賞（R3）
- 主力商品・イベント：
 - ・ソラの藍、食べる藍「藍粉（アイコ）」発酵晩茶
 - ・ツアー（エコ、農業体験）
 - ・農家レストラン
 - ・伝統行事、イベント
- 活用した支援施策：
 - ・徳島県集落再生加速化支援費補助金

取組の概要

- 傾斜畑で、世界農業遺産に認定されたカヤ・落葉などを用いる伝統的な自然循環型農法で農薬や化学肥料を使用しないため、藍を食用等の用途として利用の幅を広げる。
- 地域資源（茶、草木染、織物、薬草など）を活用しオリジナル商品を開発。
- 特に藍は、染色、食用、薬用として利用し、農業、観光、教育、福祉、SDGsなどの様々な分野の取組を実施。藍生産では、認知症の患者や家族会が栽培に参加したり、県内外産地とネットワークを形成。
- 傾斜地農耕システムによる価値創造を目指す食品企業と連携し地域内農地を活用。



「ソラ」と呼ばれる家賀集落



ソラの藍畑

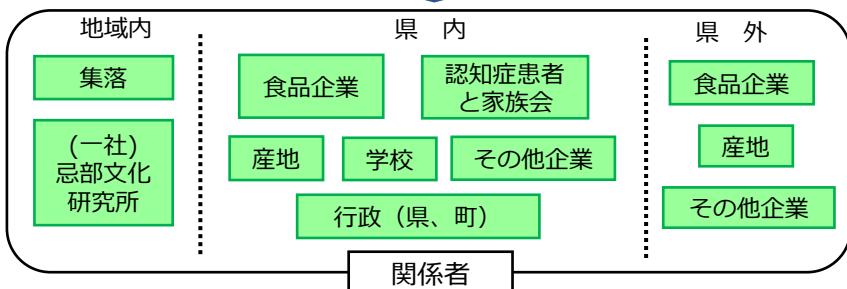


各地の大学生等と交流

体制図

家賀再生プロジェクト

連携 支援



取組の成果

- 藍(葉)の収穫量：800kg (R1) → 2,400kg (R4)
- ボランティア活動参加者がつるぎ町に2組移住し就農。
- 家賀ツアー勉強会(R1～)の参加者：毎年600～1,000人
- 藍粉とのジョイント商品の件数：H30～R4延べ34件(38品)

ウェブサイト▶ https://peraichi.com/landing_pages/view/keka-playback-project/

地域資源：世界農業遺産、文化、景観
 事業分野：観光・旅行、教育
 事業主体：地域住民、農業者、観光事業者等

○古民家や廃校等を滞在、交流拠点として整備するとともに、伝統料理、農作業、伝統芸能等の体験プログラムを通して、圏域全体が「桃源郷」と称される農山村の風景や文化等を体感する仕組みを構築。

基本情報

- 所在地：徳島県美馬市、三好市、つるぎ町、東みよし町
- 選定表彰：
 - ・第10回「ディスカバー農山漁村の宝」中国四国農政局選定 (R5)
 - ・オーライ！ニッポン大賞「内閣総理大臣賞」 (R2)
- 主力商品・イベント：
 - ・体験型教育旅行
 - ・体験プログラム
- 活用した支援施策：
 - ・農山漁村振興交付金（農泊推進対策）(H30)

取組の概要

- 世界農業遺産認定「にし阿波の傾斜地農耕システム」による農山村のサステナブルな暮らしを体験する観光で、観光客増による賑わい創出、新たな雇用創出等地域活性化に取り組む。
- 体験型教育旅行として、都市部中学生・高校生の農作業体験、収穫物の共同調理など農泊体験を商品化。
- 農山村散策や農家での餅つきなどを組み込んだツアープログラムが、「桃源郷」と称される農山村の風景や文化、地元農業者等のホスピタリティを体感できるとして外国人観光客から高く評価されている。



にし阿波の傾斜地集落



伝統的農作業のつち上げの体験



インバウンド受入

体制図

にし阿波～剣山・吉野川観光圏協議会

一般社団法人
そのの郷

・企画、運営

観光圏
事務局

・会計、企画、
運営

農協

・農産物販売
と連携した
観光PR

ホテル
・旅館・
観光協会

・合同での
観光PR

美馬市、三好市、
つるぎ町、
東みよし町

・企画、運営

取組の成果

- 1人あたり観光消費額 : 27,416円 (H28) → 30,663円 (R1)
- 教育旅行泊数 : 481人泊 (R2) → 7,212人泊 (R5)
- にし阿波外国人宿泊者数 : 376人 (R3) → 2,083人 (R4)
- 〔うち そのの郷でのインバウンドツアー受入数 : 10団体・490人泊 (R1) → 23団体・703人泊 (R5)〕

※にし阿波・・・徳島県美馬市、三好市、つるぎ町、東みよし町の2市2町からなる地域

ウェブサイト▶ <https://nishi-awa.jp/soranosato/>